

2024年度 定期総会開催

実施日：2024年6月8日



平成5年5月10日創刊
令和6年7月31日発行
(第125号)

二松学舎大学父母会
(本部・事務局)
東京都千代田区三番町6番地16
二松学舎大学学生支援課

題字は
故 観山貞広常吉先生書



二〇二四年六月八日(土) 午後一時三十分、九段一号館中洲記念講堂において、二〇二四年度二松学舎大学父母会定期総会が開催された。

総会に先立ち、二松学舎大学専任講師の原由来恵先生による講演「清少納言vs紫式部 本当の関係は？」が行われた。

午後二時四十分、武石智実氏の司会により総会が開始され、小平修父母会長、佐藤晋学長の挨拶の後、鈴木志保議長により議事を進行した。

第一号議案の二〇二三年度事業報告並びに決算については、審議の結果、原案のとおり承認された。

第二号議案の二〇二四年度役員選出については、会長に藤井由紀子氏、会計監査に矢島佳保里氏と古木幸江氏が決定した。

第三号議案の二〇二四年度事業計画ならびに予算については、審議の結果、それぞれ原案のとおり承認された。

議事終了後、二〇二三年度で役員を退任した小平修氏、鈴木志保氏、中台則子氏の三名に佐藤学長から感謝状が贈呈され、総会は終了した。



※父母会活動

「心に残ったこと」

二〇二四年度父母会会長 藤井由紀子

本年度、父母会会長を務めさせて頂きたくになりました。藤井由紀子と申します。

会員の皆様におかれましては、日ごろより父母会活動へのご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

また六月の定期総会では、今年度の予算と事業計画についてご承認頂き誠にありがとうございました。お陰様で二〇二四年度の新しいスタートを切ることが出来ました。

昨年度の活動の中で特に心に残ったのは、創縁祭での「無料喫茶室」のことでした。例年は、十一階の会議室で行ってまいりましたが、初めて十三階のラウンジをお借りして開催しました。皇居の緑が一望できる広いフロアでしたので、来場者数を予測することは、困難でした。初日は六時間で一五七名。二日目は、祝日で三時間の開催でしたが三三一名ものご来場がありました。コロナが落ち着いてきましたので、須藤教授の案により再びホットコーヒーをお

出しすることにしました。二日目は、想像以上のお客様がお見えになり、皆で足りなくなった飲み物を求めに、近くのお店へ何度も走りました。

会員の皆様に活発な学生活動や大学構内、近隣周辺等の様子を少しでもご覧いただけましたら幸いです。

二つ目は、三年間コロナ禍で見送られてきた「卒業記念パーティー」が開催できたことです。役員の皆にとっても、初めてのことで職員の方々のご協力を得て実施することが出来ました。入学時より二年間、リモート授業で大変な思いをしてきた卒業生の顔には、恩師や友人と話す微笑みがこぼれ、それを見て私たちもとても嬉しく思いました。

二松学舎大学が受け継いできた穏やかさと職員皆様の優しさが学生の皆さんに届きますように役員と共に励んで参りたいと思いたします。一年間どうぞ宜しくお願いいたします。

※新役員紹介 ※役員に就任して

◆古根村 忠昭 (こねむら ただあき)

本年度、父母会役員を務めさせて頂きたくになりました。古根村と申します。

この伝統ある大学に娘が入学でき、また学校のお役に立てること嬉しく思います。大学の発展と学生の皆様のご支援の力添えになれるよう微力ながらお手伝いできればと思っております。よろしくお願いたします。

◆北 優子 (きた ゆうこ)

本年度より父母会役員をさせて頂いた。歴史文化学科の北と申します。

大学でも、懇談会や文化祭など学校の様子を知るチャンスが沢山あります。最後の学生生活を親子で楽しめませんか。大学と保護者の橋渡し役として意見交換や情報共有をし、学生たちが実りある四年間を過ごせるよう微力ながらもサポートさせて頂いた。どうぞよろしくお願いたします。

◆杉本 洋子 (すぎもと ようこ)

今年度、父母会役員を務めさせて頂きたくになりました。貴重な機会を頂き、感謝いたします。行事は役員皆様と協力して進めていきたいと思いたします。より良い学生生活になりますよう活動していきたくです。どうぞよろしくお願いたします。

◆都世子 恵子 (つよし けいこ)

今年度より父母会活動に加わる機会をいただいたことを大変嬉しく思っております。より充実した学生生活を送るお手伝いを、少しでもできたらという思いです。また、活動を通して私自身も楽しみ、成長して行きたいと思っております。皆様どうぞよろしくお願いたします。

2024年度役員一覧

役職	氏名
会長	藤井由紀子
副会長(学務局長)	須藤 和敬
副会長	武石 智実
会計監査	矢島佳保里
会計監査	古木 幸江
会計	小平由紀子
	丸田 綾
	渡邊 昌子
広報	石川真由美
広報	鈴木さやか
広報	反町 香理
広報	宮下 りさ
広報	山田 則子
	北 優子
	古根村忠昭
	杉本 洋子
	都世子恵子

ごあいさつ

三島中洲翁と渋沢栄一

理事長 水戸英則



父母会の皆様におかれましては、日頃より大変お世話になっており、感謝致します。

このほど、渋沢栄一の新一万円札が発行されました。大正八年、本学創立者三島中洲翁からの依頼により二松学舎第三代舎長に就任した渋沢先生は、国語漢文科教員養成の専門学校立ち上げに尽力するなどして二松学舎を支えた、いわば経営再建の立役者であります。

三島翁は、朱子学、陽明学を修め、「義利合一論(義と利は同一)」を説きました。そして渋沢先生は「道徳経済合一説(経済で得た利益は公のために還元すべき)」を唱え、三島翁と渋沢先生は、お互いに共感する仲であったといえます。

これらの考え方は、まさにSDGs

(この世界で誰一人取り残さない持続可能な社会の実現)時代の経済・社会に適用できる考え方であり、実際にその考え方を実行されたお二人の偉大さは、今の時代においてもなお不変です。

さて本学では、二松学舎の更なるブランド力アップのための総合施策である長期ビジョン「N2030Plan」を推進しています。大変革の中、二〇三〇年代を展望して、「知識・スキル・人間性」の三位一体の人材育成を行うっていくことを使命としております。

また昨今、AI等テクノロジの進展がめざましく、理工農系学部優先の考え方が喧伝される中、本学の教育の特色である日本や中国の古典の学びを大切にすることの必要性を改めて感じています。古典とは、長い歴史を経て我々に手渡される各分野における多くの人々の知恵です。「温故知新」、その知恵の結晶を、現代の課題克服のために、利用し、適用することは、我々の社会にとって大変重要なことだと思えます。

そして、本学においては、その学問を守り続けることこそが、二松学舎創立者三島中洲翁が唱えた建学の精神を変わらぬ受け継いでいくということになるのではないのでしょうか。

豊かな学修環境とは

学長 佐藤 晋



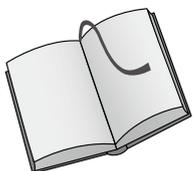
保証人の皆様におかれましては、本学の教育研究活動にご支援をいただき感謝いたします。私が学長に就任しまして三ヶ月が経とうとしていますが、この間、学生および教職員が活発かつ自由に発言し、積極的に自主性を発揮して自らの能力を伸ばしていけるような大学にするための取り組みを開始しました。教員には、まずはそのような雰囲気づくりを優先してもらうように伝えております。

大学の使命は学生を成長させて社会に送り出すことです。まずは、各講義などで明確な学習目標が定められ、それを能動的かつ集中した努力の末に一つ一つ達成していくことが必要です。また、そのためには「学びが楽しい」と思える環境が必要です。その中で、学生の皆様には精一杯努力して、自分の思考を深めていただきたいと思います。

認知能力の鍛錬は、若いうちに行うことが重要です。その際、自分も周りと同じように成長できるという考えを持って取り組んでいってほしいと思います。若者の持つ能力は未だ自分でも自覚できないほどあるんだと考えて、自らを過小評価することなく進んでいってください。

また、試行錯誤を繰り返すこと、つまり自分の考えに誤りがあればそれに気づいて、間違っていたことを素直に受け入れ直すことも重要です。例えば卒業論文を書く際に、まずは仮説を立て、その仮説を検証していく中で誤りに気づけば、また最初に戻って新たな仮説を立て、それが確認されるまで繰り返ししていく。このようなプロセスがゼミなどで多く展開されることが望まれます。

従いまして、学生の皆様にはどんな間違ってくださいと言いたいと思います。そのために稚拙と思える意見や間違ってるかもしれない発言が進んでできるような、開かれた、明るい、伸び伸びとした学修環境を生み出していきたいと思えます。





大学に入学して

文学部中国文学科

山本 康生

入学してから気付いたことは多々あるが、その中でも特に衝撃を受けたことがある。それはこの大学がただ文学についての歴史を知り、知見を深めるだけでなく更にその先の文学の未来についても考えている事だ。この大学の初めての授業で言われた言葉は「そもそも文学とは何か？」だった。ただ盲目的に中高の国語を楽しんでいた私にとってその言葉は、文学の未来を考えるきっかけとなった。また文学への情熱をさらに深め広げていく契機にもなっている。

この大学にはそんな魅力的で素晴らしい授業ばかりだ。例えば全く知らない人とコミュニケーションをとり意見を交換し合う様は、単純な学習と言うよりは研究に近いと言えるだろう。また文学だけではなく、自分の過去を振り返り、そして将来について考える授業もある。授業を受けていくうちに自分の十年後二十年後のビジョンが鮮明になっていく。はっきり言って私は、学生ひとりひとりの未来に対してここまで親身になってくれる大学を他に知らない。まだまだこの先不安は沢山あるが、それと同時にこの大学ならきっと大丈夫だろうという安心感もある。



文学部都市文化デザイン学科

江原 幸 咲

千鳥ヶ淵の桜を見ながら二松学舎大学に通い始めて、およそ三ヶ月が経った。この三ヶ月間、私は授業やサークル活動、周りの友達など高校とは全く異なる環境のもと新鮮で発見だらけの毎日を送っていた。

そんな新しい環境のもと充実した日々を送っている中で、一つ痛感したことがある。それは自分が想像していたよりも時間の流れが早いということだ。私は正直、今も入学式がつい最近のように感じてしまっている。しかし、現実には春学期の授業も終盤に差し掛かっており、気づけばあと少してテスト週間を迎えるというところまで来てしまっていた。この四半期があつという間であつたため、大学生活四年間も同様に瞬間に終わってしまうだろう。そのため、このあつという間の四年間を目標に向かって突き進む有意義な時間にするべきだと感じた。

私は将来観光に携わる職に就きたいという目標があり、その目標を達成するために二松学舎大学に入学した。自分の希望の進路に進むためにも、充実した四年間を送るためにも、ただ単に「あつという間の四年間」を過ごすのではなく、挑戦や努力をやめない「あつという間の四年間」を過ごしたい。

大学に入学して

国際政治経済学部国際経営学科

山崎 海 音

私は入学する前、一つだけ不安だったことがある。

それは「話せる人や友達が出来るか」ということだ。単位を取れるかなどは、自分で予習復習を重ねればなんとかなるが、話せる人が出来るかだけは、自分から話しかけられない私にとって、とても不安だった。

入学式前のオリエンテーションでは、緊張から体調を崩し声が全く出ない、手の震えが止まらなかつたりと、緊張と不安でいっぱいだった。だがオリエンテーションが始まる前に入って来た女の子が、「隣り座ってもいいですか?」と声を掛けてくれた。その子のお陰で少し不安と緊張は解けた。

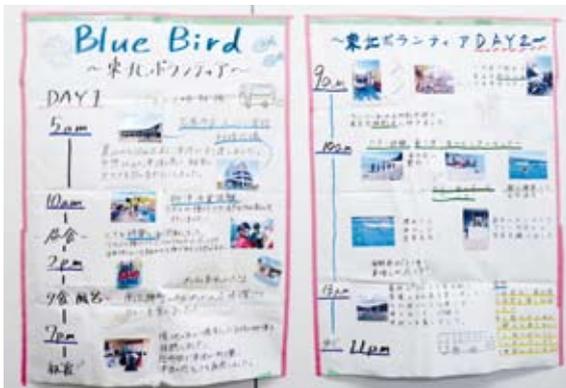
入学式では、既にいくつかのグループが出来ていて、「いいな。あんな風に話せたらな。」と心の中で何度も思った。私はオリエンテーションで声を掛けてくれた子に、ついて行く事で精一杯だった。

授業が始まってからは、自分でも何か声を掛け、各教科で一人ずつ話せる人が出来た。

私は人と話すことで、自分の知らないことを知ることができると改めて気付かされた。知らないことばや友人の趣味のことなど、勇気を持って話しかけることで、自分の世界をこれからも広げていきたい。

新入生歓迎式典 2024

実施日：2024年4月9日



文学部国文学科三年

竹石翔馬

新入生歓迎式典2024（以下、新歓）の責任者を務めさせていただきました、学生会執行委員会会長の竹石と申します。今年度行われた新歓のテーマに、春光（しゅんこう）を選びました。春光のコンセプト「春の風景・陽光の光という意味から、新入生の皆様が明るい日々を過ごせるようにという思いを込めて。」を掲げて開催いたしました。

新入生歓迎式典2024

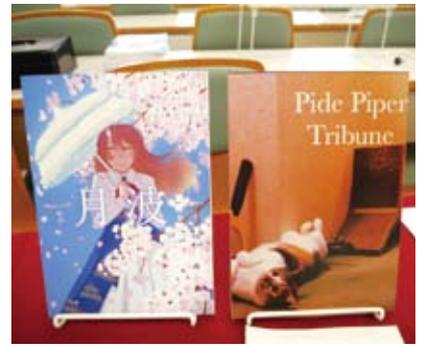
ルスの影響を受けることなく、開催することができました。昨年度の反省点を振り返りつつ、コロナ禍以前の活気を取り戻すためにはどのようなすればよいのかを、学生会執行委員会内で何度も会議を重ねました。新歓を盛り上げるために、各参加団体の良い部分や強みなどのアピールポイントを、パンフレット「一期一会」に掲載しました。また、新歓にご来場いただいた新入生の方には「スマホスタンド」のプレゼントを行いました。

新歓を運営して多々反省点はありますが、成功を収められたと考えています。また、新歓を運営していく中で、学生会執行委員会の各役員の成長を感じ取ることができました。学生会執行委員会のメンバーで一つの目標を目指し、力を合わせたことによって、新入生歓迎式典2024が成功したと思っております。

今年の六月には「九段祭POP 2024」が開催され、十一月には「創縁祭2024」が開催される予定です。この二つの行事では、新規役員も加わり、新しい学生会執行委員会並びに学園祭実行委員会として動くこととなります。新しい仲間達と力を合わせて今後の行事も運営してまいります。各行事が成功するように、ご支援並びに応援・見守りしていただくと幸いです。

POP 2024

実施日：2024年6月16日



今年度も昨年度同様に、多くの団体に参加していただくことができました。どの団体も、開催日当日に最

備を進めてまいりました。
今年度は梅雨時期の開催であったにも関わらず、終日天候にも恵まれ、沢山の来場者の皆様にお越しいただきました。参加していただいた団体の皆様、九段祭POP2024に足をお運びくださった皆様のご尽力のおかげで、今年度も無事九段祭POP2024を開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。来年度以降も役員一同団結して、より多くの来場者の皆様に満足していただけるような九段祭POPを目標に精進していきたいと存じます。今後とも学生会執行委員会を何卒よろしくお願いいたします。

文学部国文学科三年
九段祭POP2024責任者を務めさせていただきました、文学部国文学科三年の下向と申します。今年度も文化団体が日頃の活動の成果を発表する学内向けの文化祭として六月十六日(日)に学生会執行委員会が主催となり、九段祭POP2024を九段キャンパスにて開催いたしました。「翠緑(すいりょく)」というテーマ、「緑に色づいた葉に雨が滴る、あるいは混じり気のない翠のように今泡沫の情景を心に書き記そう。」というコンセプトを掲げ、意気込みも新たに今年度の九段祭POPに携わる皆様が存分に楽しめるような、そして一致団結できるように進めたいと役員一同準備を進めてまいりました。

下向 菜々美

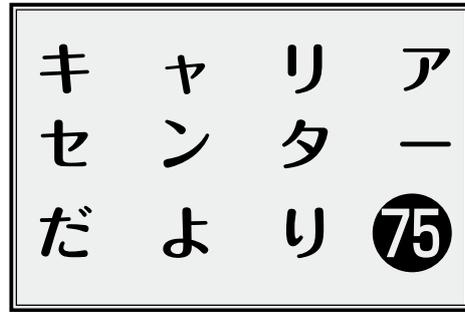
POP2024

高の発表が行えるように準備している様子が見受けられました。我々学生会執行委員会も、団体が満足のできる発表が行えるよう精一杯フォローしてまいりました。また、教室や中洲記念講堂での発表は、団体・来場者という垣根を越えて双方が楽しむことができましたのではないかと存じます。学生会執行委員会では毎年恒例企画となっているビンゴ大会を始め、思い出を撮影し共有することができる「フォトスポット」の設置や、大学構内を使い、単語を集める「ワードハント」などの企画を準備いたしました。それぞれ来年度以降への課題や改善点は見受けられましたが、どの企画も来場者の皆様の思い出のひとつになれていれば幸いです。

今年度は梅雨時期の開催であったにも関わらず、終日天候にも恵まれ、沢山の来場者の皆様にお越しいただきました。参加していただいた団体の皆様、九段祭POP2024に足をお運びくださった皆様のご尽力のおかげで、今年度も無事九段祭POP2024を開催することができました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。来年度以降も役員一同団結して、より多くの来場者の皆様に満足していただけるような九段祭POPを目標に精進していきたいと存じます。今後とも学生会執行委員会を何卒よろしくお願いいたします。

● 選択肢を広げる。

● 選択肢を広げる。
本学のキャリア支援の一つである全員面談で、学生から話を聴いていると、真面目で素直で優秀な学生が集まっていることを再確認します。それと同時に温かい家庭環境で大切に育てられていたことが伝わってきます。キャリアセンタ―は、大切に育てられた学生たちに満足のいく進路が選択できるよ



どこにでも就職できるチャンスがあるわけです。このことを学生と保護者の皆様に認識してもらい、新卒での就職活動で大きなチャンスをつかんで欲しいです。もちろん、そのためには準備が必要です。正しい職業観を持ち、職務に必要な能力も高めなければなりません。また、新卒の就職活動は、潜在能力も表現できるよう

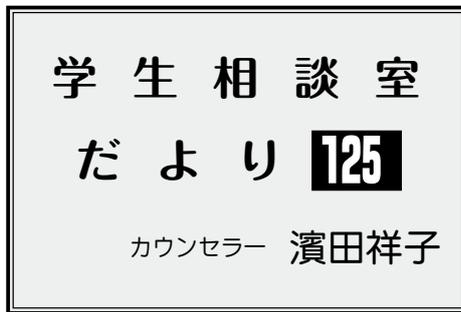
にしなければなりません。これらのことは就職活動時になって急に身に付くものではありませんので、早めの準備が必要となります。

就職活動時の学生は、保護者の言動に大きな影響を受けます。例えば「営業はやめなさい」といわれれば「営業」の選択肢を外し「親元にて欲しい」とい

われれば、そのような意思決定をします。それが潜在能力を限定してしまったり、チャンスを狭める結果になったりもします。大学と保護者の皆様が協力して、選択肢を広げられるような支援ができれば、学生のチャンスも無限に広がっていきます。

24年三月の卒業生は、五人に一人以上の割合で上場企業に就職しています。上場企業に就職させることが目的ではありませんが、本学の学生ならばどこでも就職できる力があることは教えてあげたいです。そして、就職活動では選択肢を広げれば広がるほど、チャンスが広がることも忘れないで欲しいです。

コロナ禍から大学生活が日常に戻り、一年以上が経とうとしていきます。コロナ禍においては、皆、できるだけ人と会う回数、話す機会を減らすことを求められていました。私自身も、人と話し合うことが求められる際、「これは会って話す意味があるのか」「オンラインか電話でどうにかなるものではないか」「会うことを嫌がられないかな」などと、会わない方法を考えていたことが多かったように思います。同時に、このような環境や自身の考えに窮屈さを感じていました。今、在学されている学生の皆さんは高校生の年代にこのような経験をされたのですね。どのような思いで高校生活を過ごされたのだろう、と想像しています。



のほんの余白の部分であったかもしれないけれど、そのように過ごした友人との時間は、私の学生生活を彩ってくれました。

大学では、「居場所がない」「ちよつと休める場所がない」「空きコマをどう過ごしていいかわからない」と話される学生の方がいらつしゃいます。大学の時間の流れに追われているように感じられる方もいらつしゃいます。学生相談室では、コロナ禍でしばらくお休みしていた「フリースペース」を再開しました。一息つきたいとき、大学の中で自分のペースを取り戻したいとき、訪れていただければと思つています。再開後のフリースペースからは時々、賑やかな話し声が聞こえてきます。しばらく時間を過ごした後、落ち着いた様子で出ていかれる方が見られます。相談があるときだけでなく、一休みしたいな、と感じたときにも学生相談室を訪れてみていただくよう、御父母の皆様からもお勧めいただければ幸いです。

自身の大学生活を思い返してみると、授業が終わった後、友人と教室に残り、おしゃべりをした時間、授業について「ここがわかりにくいよね」と話した時間などが記憶に蘇ります。それは大学生活

お勧めいただければ幸いです。

2023年度事業報告並びに決算

Ⅰ 2023年度事業報告

概要

2023年度二松学舎大学父母会の会員数は、2023年度入学者文学部520名・国際政治経済学部291名計811名、文学部・国際政治経済学部編入学生（3年次生）11名を新たに会員として迎え、2023年5月1日現在3,064名である。

2023年度は予算総額53,359,058円（前年度からの繰り越し金を含む）で、2023年5月27日(土)に行われた定期総会で承認された事業計画に基づき諸事業を推進してきた。以下にその事業の概要を記載する。

1. 【地区別父母懇談会】

2023年度の地区別父母懇談会は、2022年度まで新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた地方への訪問を、今年度は6月10日(土)に茨城県水戸市（水戸三の丸ホテル）、7月1日(土)に長野県松本市（キッセイ文化ホール）、7月15日(土)に九段校舎（中洲記念講堂）において開催した（九段校舎のみ、オンライン併用）。また、希望者による教職員との個別相談も実施した。

大学からは学長、副学長、文学部長、国際政治経済学部長、学務局長、文学部・国際政治経済学部各教員はじめ学務局（学生支援課・教務課及びキャリアセンター）の職員が出席し、懇談を通して大学教職員と会員（父母）との相互理解を図ると同時に、大学の現状、学生の大学生活及び就職の実情、単位修得等勉学の状況及び父母会の活動について説明を行った。

2. 【教育研究振興助成】

2023年度の教育研究振興助成は、2024年2月に実施した海外語学研修（韓国・アメリカ）の職員の引率に対し、旅費の一部を助成した。

他に、「ES実践講座」・「日本語検定」・「SPIテストセンター対策講座」等への助成、新入生教育助成として『学生生活スタートブック』の冊子を購入し配布した。

3. 【課外活動助成】

書道部に学外展会場借用費用・ポスター印刷費、及び狂言研究会にポスター印刷費等の助成を行った。

学生顕彰として、17名の学生・1つの団体に奨励金を支給した。助成は、「課外活動団体助成費取扱い要領」及び「学生顕彰取扱い要領」に基づき、実施している。

4. 【大学行事等への助成】

4月に開催した新入生歓迎式典に際し、新入生への来場記念品としてタッチペン付ボールペンを学生会執行委員会が配布し、その費用を助成した。

また創縁祭では、学園祭実行委員会からの援助願に基づき、費用の一部を助成した。

5. 【卒業記念パーティー】

2024年3月20日（水・祝）に帝国ホテル「孔雀東の間」で実施した。

6. 【卒業記念品】

卒業記念品として卒業アルバムを贈呈した。

7. 【奨学金】

学生の資格・能力取得育英を目的に、指定した資格取得や教員・公務員等各種採用試験合格者等73名に対して奨学金を支給した。

8. 【弔慰金・災害見舞金】

2023年度の弔慰金・災害見舞金については、学生及び会員（父母）6件に対し行った。「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領」に基づいて実施している。

9. 【父母会報の発行】

2023年度は、第121号（2023年7月31日）、第122号（2023年10月20日）、第123号（2024年1月20日）、第124号（2024年3月31日）の計4回発行した。

10. 【外国人留学生支援に関する助成】

2023年11月3日（金・祝）に外国人留学生との懇親会を開催した。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉

観葉植物設備（九段1号館・3号館・4号館のエントランスや共用スペースに配置及び手入れ等）補助・大学施設の補修に対する助成をした。

2. 〈就職指導支援費〉

キャリアセンターの就職支援活動に対して助成した。

3. 〈事業積立金〉

事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを開始し、周年事業等に予算執行してきた。

4. 〈創縁祭参加費〉

創縁祭の参加経費。2023年度は父母会運営の無料喫茶室を出店し、その費用として支出した。

5. 〈食育に関する助成費〉

例年、二松学舎松苓会と共同で実施してきた「100円朝食」「学生応援ランチ」に代わり、2022年度からは学生応援弁当を実施し、2023年度もその費用の一部を助成した。

【予備費】

今年度は、学生応援弁当の増食分への支出及び卒業記念パーティー実施費用の一部として支出した。

○〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要となる学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。

○〈特別会計 事業積立金〉

父母会として二松学舎創立150周年事業にむけて、事業積立を行った。

収入の部

(単位:円)

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 繰越金	20,198,058	20,198,058	0	前年度繰越金
2 父母会費	32,660,000	32,660,000	0	新入学生4万円×(文学部520名+政経学部291名) 編入学生2万円×(文学部3名+政経学部8名)
3 助成費	500,000	500,000	0	大学からの卒業パーティ助成
4 雑収入	1,000	20,209	△ 19,209	受取利息、お祝い金
合 計	53,359,058	53,378,267	△ 19,209	

支出の部

項目	予算額①	決算額②	比較増減①-②	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	2,933,979	366,021	運営費用(ライブ配信、オンライン個別相談)他
教育研究振興助成				
教員の海外研修助成費	600,000	600,000	0	教員2名の海外研修への助成
海外研修引率者助成費	500,000	500,000	0	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
2 就職指導支援経費	1,000,000	585,161	414,839	SPI、ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	216,000	△ 16,000	「学生生活スタートブック2024年度版」購入経費900部
小 計	2,300,000	1,901,161	398,839	
課外活動助成				
課外活動活性化助成費	500,000	500,000	0	課外活動実施に伴う経費の一部助成
課外活動団体助成費	500,000	88,380	411,620	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	400,000	75,000	325,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	1,400,000	663,380	736,620	
3 大学行事等への助成費	1,200,000	1,150,000	50,000	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
4 卒業記念パーティー	9,200,000	10,749,659	△ 1,549,659	卒業パーティー運営経費
5 卒業記念品	4,420,000	3,882,780	537,220	卒業アルバム作成経費
6 奨学金	5,000,000	5,860,000	△ 860,000	「成長支援型(資格・能力取得育英)奨学金71名
7 慶弔費・災害見舞金	200,000	60,000	140,000	学生・父母及び専任教員の死亡に対する供花料及び災害見舞金 6件
会報発行				
印刷・制作費	1,200,000	744,350	455,650	父母会報年4回発行、120～123号
発送費	1,400,000	1,196,030	203,970	会報発送 120～123号
小 計	2,600,000	1,940,380	659,620	
10 外国人留学生支援に関する助成費	300,000	300,000	0	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	29,920,000	29,441,339	478,661	
11 通信費	700,000	646,660	53,340	総会資料等発送費、はがき・切手等
12 印刷費	700,000	563,750	136,250	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
13 会議費	700,000	491,842	208,158	定期総会・役員会等
14 交通費	380,000	196,450	183,550	役員会等へ出席する役員の交通費
15 消耗品費	100,000	17,612	82,388	事務用品等購入経費
16 雑 費	80,000	110,618	△ 30,618	振込手数料、その他
運営費合計	2,660,000	2,026,932	633,068	
特別事業費				
1 営繕助成費	300,000	300,000	0	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
2 就職指導支援経費	2,500,000	1,583,230	916,770	キャリアセンターの就職指導(キャリアカウンセラー等委託費)助成
3 事業積立金	2,000,000	2,000,000	0	大学における特別事業への支援のための積立
4 創縁祭参加経費	180,000	206,743	△ 26,743	創縁祭参加関連、喫茶室運営経費
5 食育に関する助成費	972,000	950,400	21,600	学生応援弁当270円×3,520食分
予 備 費	14,827,058	0	14,827,058	
合 計	53,359,058	36,508,644	16,850,414	
差引残高(次期繰越金)	0	16,869,623	-	

2024年度事業計画並びに予算の概要

【経常費】

1. 〈地区別父母懇談会〉

2024年度の地区別父母懇談会は、8月頃に九段キャンパス中洲記念講堂にて、2023年度同様オンライン併用のハイブリッド式の懇談会を実施する。また、地方での開催も実施する予定（候補地：静岡県、栃木県）。

内 容

- ・大学の現況報告
- ・学生生活・学習状況・就職状況についての説明
- ・個別相談等
- ・その他

2. 〈教育研究振興助成〉

- (1) 教員の海外研修に対する助成
教員の海外研修旅費の一部を助成する。
- (2) 海外研修学生引率者助成
2024年度も中国語圏・英語圏・韓国語圏での語学研修が予定されているので、その旅費の一部を助成する。
- (3) 就職指導支援経費
キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。今年度は、「SPI対策講座」「日本語検定」「就職筆記対策」「就職活動中の支援」等の経費を助成する。
- (4) 新入生教育助成
大学で発行している学生生活の手引『キャンパスライフ』を補完するものとして、『学生生活スタートブック「学生生活は危険がいっぱい2024年度版」』を購入し、新入生全員に配布する。

3. 〈課外活動助成〉

- 学生のクラブ・サークル等課外活動の実施に伴う経費の一部を助成する。
- (1) 課外活動活性化助成
課外活動団体の練習時間の延長、及び休日に行う対外試合等によるスクールバスの運行等経費の一部を助成する。
 - (2) 課外活動団体助成
クラブ・サークル等課外活動団体の活動費（全国大会出場経費の一部、学外発表会経費の一部等）を「課外活動団体助成費取扱い要領（内規）」に従い、助成する。
 - (3) 学生顕彰
ボランティア活動等の社会活動、国際交流、部活動で特に顕著な業績が認められる団体並びに個人を表彰するとともに奨励金を支給する。

4. 〈大学行事等への助成〉

学生団体が主催する「新入生歓迎式典」「学園祭（創縁祭）」等に経費の一部を助成し学生活動の活性化を図る。

5. 〈卒業記念パーティー〉

2024年度卒業記念パーティーを開催する。

6. 〈卒業記念品〉

卒業記念品として卒業アルバムを卒業生全員に贈呈する。

7. 〈奨学金〉

- 下記の奨学金を給付する。
二松学舎大学父母会成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金
【対 象】 奨学金の受給資格は、大学の正規課程に在籍する学部生とし、次の各号のいずれかに該当する者とする。
(1) 公立学校教員採用試験合格者
(2) 公務員試験合格者
(3) 父母会が指定した資格の取得者
【給付額】 3万円～15万円（取得した資格や合格した試験に応じて）
【対象学年】 1～4年次
【申請時期】 当該年度10月
【他制度併用の可・不可】 可

8. 〈弔慰金・災害見舞金〉

「父母会弔慰金並びに災害見舞金取扱い要領（内規）」に従い、会員（父母）・学生・専任教職員の死亡に対し弔慰金または供花をもって弔意を表す。さらに、火災や自然災害等で学生の自宅やアパート等が被災した場合は、災害の軽重に応じて見舞金を支給する。

9. 〈父母会報の発行〉

大学・父母会の現状、学生生活の状況を会員に伝えるための機関紙「父母会報」を、年間4回発行する。

10. 〈外国人留学生支援に関する助成〉

外国人留学生の支援に関する活動は、1999年度から父母会事業の一環として位置づけ実施している。具体的には、留学生との交流・親睦を図ることを目的とした研修旅行（日本文化探訪プログラム）や、親睦会費用の一部を助成する。

【特別事業費】

1. 〈営繕助成等〉
学生食堂等に観葉植物を設置する。校舎等における緊急を要する補修等に助成する。
2. 〈就職指導支援経費〉
キャリアセンターが行う学生の就職活動支援事業に助成する。
3. 〈事業積立金〉
事業積立金は、法人・大学の記念事業推進に協力するため、1993年度より特別会計として積み立てを始め、周年事業等に予算執行を行ってきた。2024年度は、200万円を計上する。
4. 〈創縁祭参加に伴う経費〉
本学学園祭「創縁祭」に父母会として無料喫茶ルームを運営するため、コーヒー、

紅茶及び茶菓等購入費用を計上する。

5. 〈食育に関する助成費〉

2016年度から「100円朝食」、2021年度から「学生応援ランチ」に助成しており、2022年度からは「学生応援弁当」に助成を行い、2023年度も同様に実施した。2024年度も引き続き「学生応援弁当（270円/食）」の助成を行う。

◇〈学生金庫基金〉

現金が緊急に必要なとなった学生のために、1回につき1万円を無利子で貸し出し（貸し出し期限1カ月）便宜を図っている。本年度もこの制度を継続する。

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	記 事
1 繰越金	16,869,623	
2 父母会費	32,940,000	新入学生4万円×817名（文学部522名+政経学部295名） 編入学生2万円×13名（文学部6名+政経学部7名）
3 助成費	500,000	大学からの卒業パーティ助成
4 雑収入	1,000	受取利息、その他
合 計	50,310,623	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	記 事
1 地区別懇談会費	3,300,000	会場費、教職員出張費、オンライン個別相談運営委託費等
教育研究振興助成		
教員の海外研修助成費	600,000	教員2名の海外研修への助成
海外研修引率者助成費	500,000	海外語学研修学生引率教員の旅費の一部助成
就職指導支援経費	1,000,000	SPI・ES対策講座等キャリアセンターの就職指導助成
新入生教育助成費	200,000	「学生生活ハンドブック」購入経費
小 計	2,300,000	
課外活動助成		
課外活動活性化助成費	500,000	課外活動実施に伴う経費の一部助成
課外活動団体助成費	500,000	課外活動団体への助成・全国大会出場助成・学外発表会助成等
学生顕彰費	400,000	個人・団体の大会優勝者など大学で推薦する者への表彰費用助成
小 計	1,400,000	
大学行事等への助成費	1,200,000	新歓式典・学園祭など大学行事・学生会主催行事への助成
卒業記念パーティ	10,500,000	卒業記念パーティー運営にかかる経費
卒業記念品	4,000,000	卒業アルバム作成経費等
奨学金	5,500,000	父母会「成長支援型（資格・能力取得育英）奨学金」
慶弔費・災害見舞金	200,000	学生・父母及び専任教職員の死亡に対する香典及び災害見舞金等
会報発行		
印刷・制作費	1,000,000	父母会報年4回発行、124～127号
発送費	1,400,000	父母会報発送124～127号
小 計	2,400,000	
外国人留学生支援に関する助成費	300,000	外国人留学生の学習活動等への支援
事業費合計	31,100,000	
運 営 費		
11 通信費	700,000	定期総会資料等発送費、はがき・切手等
12 印刷費	700,000	定期総会資料の印刷・製本、返信はがき・封筒等の印刷費
13 会議費	700,000	定期総会・役員会等
14 交通費	380,000	役員会等へ出席する役員の交通費
15 消耗品費	100,000	事務用品等購入経費
16 雑費	120,000	振込手数料、その他
運営費合計	2,700,000	
特 別 事 業 費		
1 営繕助成費	300,000	学生施設の緊急を要する補修等及び観葉植物設置補助
2 就職指導支援経費	2,500,000	キャリアセンターの就職指導〈キャリアカウンセラー等委託費〉助成
3 事業積立金	2,000,000	大学における特別事業への支援のための積立
4 創縁祭参加経費	410,000	創縁祭参加にかかる行事運営経費等
5 食育に関する助成費	972,000	学生応援弁当の助成
予備費	10,328,623	物価変動など不測の事態を考慮
合 計	50,310,623	

2024年度 二松学舎大学父母会定期総会議事録

日 時：2024年6月8日(土) 13:30～16:35

会 場：九段1号館地下2階 中洲記念講堂

講 演：「清少納言vs紫式部 本当の関係は？」

原 由来恵 先生(文学部 国文学科 教授)

会員数：本年度会員数 3,020名

出席者：委任状 1,114名

出席者 74名 合計 1,188名

大学側：佐藤晋学長、福島一浩副学長、押野洋副学長、江藤茂博文学部長、
高岸直樹国際政治経済学部長、須藤和敬学務局長、中原敬二教学事務部付部長、
三島学生支援課長、水野学生支援課員、菊地学生支援課員

1. 開会の辞

司会 武石 智実 氏

司会者から「本日総会時の会員数は、3,020名であり、父母会会則第9条により委任状を含めて5分の1(604名)以上の出席が必要であること、本日の出席者は74名、委任状は1,114名、合計1,188名であることから本日の総会は成立する旨の説明があった。

続いて、小平 修 父母会長、佐藤 晋 学長からそれぞれ挨拶があった。

2. 議長指名

司会者から、総会の議長は父母会運営細則により、会長または会長の指名する者となっており、会長から鈴木 志保氏が指名されているので、鈴木議長のもとで議事を進行させたい旨の説明があり、承認された。

3. 書記・議事録署名人指名

鈴木議長が書記及び議事録署名人として次の各氏を指名した。

書 記 石川 真由美 氏

議事録署名人 鈴木 さやか 氏、山田 則子 氏

4. 議 事

◇第I号議案〈2023年度事業報告並びに決算〉

小平 修会長から、議案書に基づき概要説明があった。続いて中台則子会計監査・渡邊昌子会計監査担当役員から監査報告が行われた。審議の結果、原案のとおり承認された。

◇第II号議案〈2024年度役員選出〉

鈴木議長から、会則第6条・9条及び父母会運営細則第3条に基づき、総会において役員(会長・会計監査)を選出することとなっているとの説明があった。

鈴木議長から大学側に候補者の氏名を発表してもらうのが慣例との説明があり、大学側(須藤和敬学務局長)から議案書の通り次の各氏が推薦された。

新 会 長 藤井 由紀子 氏

新会計監査 矢島 佳保里 氏、古木 幸江 氏

鈴木議長が大学側から推薦された各氏について出席の会員に諮ったところ異議なく承認された。

続いて藤井新会長より就任の挨拶があった。

◇第III号議案〈2024年度事業計画並びに予算〉

藤井会長から、議案書に基づき概要説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

議事終了後、下記の退任役員へ佐藤学長から感謝状が贈呈された。

小平 修 氏、中台 則子 氏、鈴木 志保 氏

5. 閉会の辞

司会 武石 智実 氏

◇意見交換会

事前及び会場から寄せられた質問・意見に対し、須藤学務局長、中原教学事務部付部長および三島学生支援課長から回答を行った。

その後、中洲記念講堂内で、希望する参加者・父母会役員とで意見交換を行った。

2024年 6月 8日

議 長 鈴木 志保 印

議事録署名人 鈴木 さやか 印

議事録署名人 山田 則子 印

書 記 石川 真由美 印



オリジナルグッズのご紹介

二松学舎で第三代舎長を務めた渋沢栄一ですが、先日発行された新一万円札に肖像が採用され、今話題となっています。今回はそんな渋沢栄一が描かれたオリジナルタオル、お札せんべいをご紹介します！

【渋沢栄一壹万円札タオル】

お札をモチーフとしたデザインで話題作りにはもちろん、「今治産」綿100%で肌触りも良く、タオルとしての実用性も抜群！これからの時期に大活躍間違いなしです。

夏目漱石千円札タオルや、お得なタオルセットも好評販売中です。詳しくはオンラインショップをご覧ください。

(サイズ：35cm×80cm)

【販売価格】1,000円(税込)

【渋沢栄一お札せんべい】

お札をモチーフとした瓦煎餅です。ユニークな見た目ですが、やさしい甘さでとまらない美味しさ！

ご自宅用としてはもちろん、これからの時期は帰省土産としてもおすすめです。この機会にぜひお買い求めください。

【販売価格】10袋20枚入：1,800円(税込)、3袋6枚入：500円(税込)



●販売方法：二松学舎サービス株式会社(九段3号館10F)

オンラインショップ

[<https://nishogakusha.shop-pro.jp/>]

※オンラインショップをご利用の場合、

別途送料をいただきます

※品切れの際はご容赦ください

●お問合せ先：二松学舎サービス株式会社

TEL：03-3261-6921 MAIL：info@nishogakusha-s.co.jp



「安否確認サービス」の運用に伴う登録について(お願い)

2024年元旦に発生した能登半島地震をはじめ、近年全国各地で地震が多発しています。

地震以外にも、その他広域災害に備え、学生と大学との連絡手段として、セコムトラストシステムズ株式会社が提供する「安否確認サービス」を導入しており、学生の皆様には必ず初期登録をして頂くようにお願いしています。災害の大きさ等に応じて、頂いた安否報告の内容を参考に、災害時給付金やお見舞金等のご案内をする予定です。お子様にご登録の状況についてご確認頂き、登録がまだお済みでないようでしたら、ぜひ速やかに登録手続きを行うよう、お話し頂けますと幸いです。

1. サービス概要(右図参照)

2. 対象者

大学、大学院生(本科生)

3. 登録(連絡)方法

※方法はポータルサイトLiveCampusに掲載中です。

LINE連携登録、専用アプリ、メールアドレスの3つの登録方法がありますが、通信障害に備え、出来るだけ**2つ以上**の登録をお願いしております。

※「安否確認サービス」は個人所有のメールアドレスを利用いたしますので、大学で手続き代行を行うことが出来ません。個人情報(メールアドレス等)の登録、管理は必ず各自で行ってください。

4. お問合せ窓口

二松学舎大学 学生支援課

TEL：03-3261-7427

E-mail：gakusei@nishogakusha-u.ac.jp



編集後記

父母会報一二五号をお読みいただきありがとうございます。

夏の暑さが続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか。平素は二松学舎大学父母会活動にご協力いただき、ありがとうございます。

六月に令和六年度定期総会が開催され、新役員体制が整いました。新しく役員となられた方々と共に、「二松学舎大学父母会報」を通じて大学や学生の様子、また父母会の活動などをお伝えしてまいりたいと思います。

この会報がお手元に届くころには、パリオリンピック真只中となっております。多くのアスリートたちがどのような熱いドラマを魅せてくれるのでしょうか。オリンピックの価値は、卓越、友情、敬意の三つにあるとされています。この三つの精神は、世界レベルのアスリート、オリンピック人だけではなく、私たち一般人も、すぐに取り入れることのできる、大切な精神ではないかと思えます。父母会の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。